



秋の行事でも、中学生ボランティアが大活躍！

町民大運動会

平成29年10月1日(日)、「第66回笠松町民大運動会」が、笠松中学校運動場で開催されました。今年の運動会は、秋晴れの絶好のコンディションということもあり、たいへん多くの町民が参加して行われました。

この運動会は、笠松町民運動会実行委員会が中心になって実施されていますが、中学生ボランティアの協力なしにはスムーズな運営はできません。

今年は約70人のボランティア参加があり、それぞれ、進行、審判、スタート、記録、器具、賞品、放送、パトロール、救護の係に分かれ、担当者の指示を聞き、自分なりによく考えて、主体的に活動している生徒がほとんどでした。

そのため、多くの関係者や参加者から、「今年の中学生ボランティアは、とても動きがいいね。」という声を耳にしました。

さらに、運動会終了後の片付けまで熱心に行い、「来たときよりも美しく」の心で、気持ちよく活動を終えることができました。



打ち合わせ



用具等の準備



賞品渡し

名鉄ハイキング

平成29年10月21日(土)、一宮市の木曾川資料館をスタートし、笠松競馬場をゴールとする、「名鉄ハイキング」が行われました。

台風や秋雨前線の影響で、途中から雨が降り出すといった天候でしたが、県内外各地から多数の参加者が訪れ、約9kmの行程を歩きました。

コース途中には、イベント会場や休憩所等が用意され、いろいろな形で「おもてなしの心」を表しました。

その中の一つ、県町の「美濃郡代笠松陣屋・岐阜県庁跡」では、約20人ほどの中学生ボランティアが、参加者にお茶をサービスしたり、休憩所への案内をしたりし、「おもてなしの心」で、明るく元気に対応しました。中学生の爽やかな声かけに、歩く力が増した人が多かったのではないかと思います。



取材を終えて・・・オレンジTシャツを身につけ、それぞれの担当場所で活動している中学生を見ると、心が温まります。リバーサイドカーニバルが中止になり、ボランティアの機会が減ってしまいましたが、今後、機会があれば、積極的に参加してほしいと思います。また、大人からの「ねぎらいの言葉」をお願いします。